



NR-1 Nova Reverb

ユーザーマニュアル

目次

イントロダクション

目次	2
はじめに	3

操作法

本体	4
スイッチ	5
ノブ	6
インプット・レベル・キャリブレーション	7
リバーブ・タイプ	7
リバーブ・スピルオーバー	10

セットアップ例

モノラル/ステレオ	11
SEND/リターン	12
アンプ・ヘッド	13

付録

仕様	14
----------	----

Nova - トーンが全て

ずっしりとした存在感、高級感あふれるデザイン、そして精巧な作り...Novaは、手に取った瞬間に普通のストンプボックスとは全くの別物であることが直感的に感じ取れるはずです。Novaは、コンパクト・ペダルとしては前代未聞のトーン・クオリティとパフォーマンスを実現します。

Novaペダルは、TCのノウハウがつぎ込まれたワールドクラスのエフェクト・プロセッサの血統を引き継いでおり、ギター用エフェクト・ペダルにおける「最先端」の標準を再定義します。NR-1 Nova Reverbは、妥協のないスタジオ品質のエフェクトを、コンパクトなフロア・ベースのデザインに集約しています。

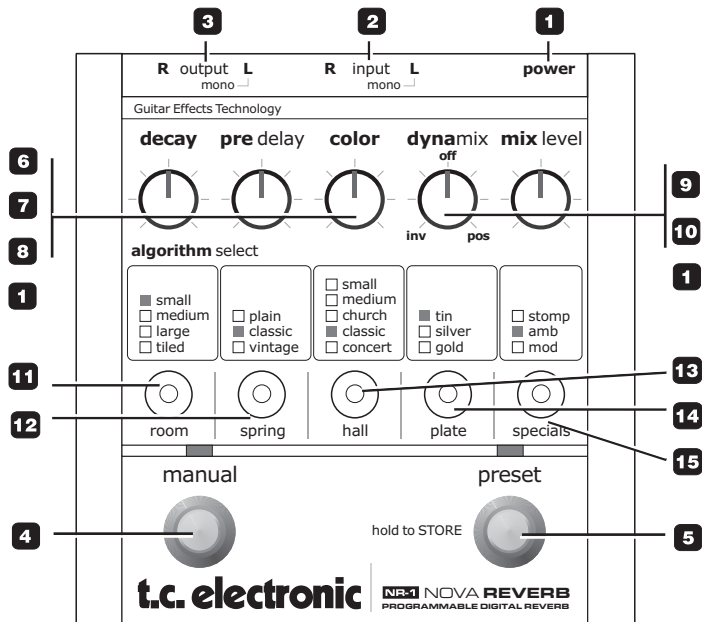
Nova Delay同様に、Nova ReverbはTC製品ならではの圧倒的なトーン・クオリティを備えています。ウォームでヴィンテージ感あふれるClassic Springから目を見張るリアリズムのTC Classic Hallまで、極上のリバーブを堪能できます。

Nova Reverb の主な機能

- 5種類のスタジオ・クオリティ・リバーブ・タイプ
- マニュアルとプリセット・モード
- DynaMix™ - ダイナミック・ダッキング・リバーブ

t.c. electronic
ULTIMATE SOUND MACHINES

本体



配線

1 Power - パワー

Nova Reverb は、12V DC 300mA を必要とします。製品に付属のパワーサプライを使用するか、同様の仕様を持ったパワーサプライをご使用ください。

2 Input - インプット

インプット用の 1/4"モノラル・ジャックです。モノラルの場合は L の端子を、ステレオの場合は L/R 両方の端子を使用します。

3 Output - アウトプット

アウトプット用の 1/4"モノラル・ジャックです。モノラルの場合は L の端子を、ステレオの場合は L/R 両方の端子を使用します。

スイッチ

Nova Reverb は、プリセットとマニュアルの 2 種類のモードがあります。

4 Manual - マニュアル・スイッチ

バイパスまたはプリセット・モードから、マニュアル・モードに切り替えます。マニュアル・モードでは、ペダルは常にノブの位置に応じたセッティングとなります。

5 Preset - プリセット・スイッチ

バイパスまたはマニュアル・モードから、プリセット・モードに切り替えます。プリセット・モードに切り替えると、LED はセッティングを表示しますが、5 つのノブの位置が保存されている設定とは一致しないことがあります。ノブを動かすと、その位置に応じた設定に変更されます。

プリセットの保存

プリセット保存の手順は次の通りです。

- Preset スイッチを約 1 秒長押しします。以上で、プリセットは保存されます。

操作法

マニュアル・モードからプリセットの保存を行うと、全てのノブのポジションとLEDの状態に応じた設定でプリセットが保存されます。プリセット・モードから保存する場合は、変更したパラメータのみが保存されます。

Bypass - バイパス

Manual と Preset いずれのLEDも点灯していない状態は、本体がバイパスされていることを示します。

ノブ

6 Decay - ディケイ

リバーブのディケイ・タイムを調節します。ディケイ・タイムは、リバーブの減衰成分が、原音に対して約60dB下がるまでの時間を示します。これは、リバーブの「長さ」として認識されます。

7 Pre-Delay - プリディレイ

リバーブのプリディレイ・タイムを調節します。プリディレイとは、原音とリバーブ減衰音の間に挿入される短いディレイのことを指します。原音と減衰音の間に「間」を入れることにより、原音とリバーブ成分の分離感を高めることができます。

8 Color - カラー

リバーブの高周波数の特徴をエンハンスしたり、強調することができます。過度のハイエンドは原音を損なうことがあり、逆に少なすぎると、リバーブがこもって聴こえることがあります。

9 Dynamix

名機TC 2290 ディレイから継承されているユニークな機能で、入力信号の強弱でリバーブのレベルを調節することができます。

コントロールを時計回りの「pos」（ポジティブ＝「+」）方面に回すと、演奏時にはリバーブの出力が抑えられ、フレーズの合間にリバーブの出力が上がる、という効果が得られます。こうすることにより、一般的なリバーブに比べて、リバーブのレベルを上げても残響音が演奏をかき消してしまうことを防げます。逆に、反時計回りの「inv」（インバース＝逆）方面に回すと、効果も逆となり、演奏中はより多くのリバーブが施され、演奏を止めるとリバーブの量が少なくなります。12時の設定で、Dynamix機能なしの通常のリバーブとなります。

10 Mix Level - ミックス・レベル

原音とリバーブの全体的なミックスを指定します。

インプット・レベル・キャリブレーション

Nova Reverb ペダルは、普通のコンパクト・エフェクト同様に、特別な設定なしにそのままご使用いただけます。しかしながら、入力感度のキャリブレーションを行うことにより、Nova Reverb ペダルの AD/DA コンバータの性能をフルに活用できる状態に最適化することができます。手順は、次の通りです。

- 入力感度のキャリブレーションは、想定される最大のインプット・レベルに対して行います。そのため、まずは Nova Delay ペダルの前に接続されているレベルを上げる機器（プースター等）を ON にしてください。
- Room ボタンを長押ししてから離します。下から 2 列めの LED 5 つが点灯します。
- 数秒の間、最大音量のサウンド*を演奏し、5 つの LED が一つずつ消えるのを確認します。ギターの出力によって消灯する LED の数は異なります。LED の状態に変化が見られなくなったら、キャリブレーションは完了です。
- いずれかのボタンを押すと、キャリブレーションは終了します。

※ 「最大音量」とは、最もダイナミクスの大きいサウンドのことを指します。オーバードライブは原理的にコンプレッションがかかっているために、通常はクリントーンとなります。

リバーブ・タイプ

リバーブ・タイプとサブ・タイプの指定には、ボタン 11～15 を使用します。

- ボタンを一度押すと、そのタイプが選択されます。
- 同じセレクターを繰り返し押すと、そのタイプのサブ・タイプが順番に切り替わります。例：「Spring」では、Plain / Classic / Vintage のサブ・タイプを選択できます。

11 Room - ルーム

ルーム・リバーブには、Small / Medium / Large / Tiled のサブ・タイプが用意されています。

Small - Medium - Large (スモール/ミディアム/ラージ)

サイズ別にチューニングされた、ルームのバリエーションです。

Tiled Room (タイルド・ルーム)

リバーブと言えば、真っ先に「風呂場」を想像する人も多いでしょう。しかし、このような効果を求める場合、実際に風呂場で音を出すとは幻滅してしまいがちであることも事実です。タイル・ルームは、スモールからミディアム・サイズの、タイル張りの空間を想定しています。雑多な反射音が特徴的ですが、強いカラーを持ちながらも原音を尊重します。

操作法

12 Spring - スプリング

スプリング・リバーブには、Plain / Classic / Vintage のサブ・タイプが用意されています。

Plain Spring (プレーン・スプリング)

Nova Reverb が搭載する、最も色付けの少ないスプリング・リバーブのエミュレーションです。Classic Spring と Vintage Spring タイプと比べ、最もニュートラルなサウンドが得られます。

Classic Spring (クラシック・スプリング)

クラシックなスプリング・リバーブをエミュレートしています。このアルゴリズムは、現存する最も優れたスプリング・リバーブのエミュレーションの一つです。

Vintage Spring (ヴィンテージ・スプリング)

ヴィンテージのギターアンプなどに搭載されていたスプリング・リバーブをシミュレートします。クラシック・スプリングに比べて粒の粗いサウンドで、レトロなギター・サウンドに最適です。

13 Hall - ホール

ホール・リバーブには、Small / Medium / Church / Classic / Concert のサブ・タイプが用意されています。

Small & Medium (スモール & ミディアム)

中小サイズのホールの反射パターンを再現します。

Church (チャーチ)

極めて拡散の強いリバーブで、伝統的な教会などが特徴とする複雑な形状の硬質な壁面による反射音をエミュレートしています。

Classic Hall (クラシック・ホール)

TC の多くの定評ある製品から継承されたリバーブで、リッチかつ空気感あふれるサウンドを得られます。ミディアムからロングのディケイ・タイムでの使用に適しています。Color で、サウンドの全体的な統一感を調節できます。ミックス・レベルが適切であるにも関わらずリバーブの主張が足りなく感じられる場合は、カラーを足してみてください。

Concert Hall (コンサート・ホール)

多くのリバーブの中でも、1つの定番となりつつある名声高いアルゴリズムです。比較的ラージなホールをシミュレートし、原音の特徴を維持することに長けています。長いディケイタイムで、ラージで幅のある、特徴的なサウンドが得られます。

14 Plate - プレート

プレート・リバーブには、Tin / Silver / Gold のサブ・タイプが用意されています。

Tin Plate (ティン・プレート)

デジタル世代以前のリバーブ機は、大きな鉄板を反響させてリバーブの効果を生成していました。ティン・プレートは、この多くのレコーディングで聴くことができる、色づけの少ないピュアなプレートのサウンドを極力忠実に再現しています。拡散的でブライトなサウンドが特徴で、ファンキーなリズム・ギター・パターンなどに適しています。

Silver Plate (シルバー・プレート)

華やかながらもバランス感に秀でたプレート・リバーブで、ティンとゴールドの中間となるサウンドが得られます。クラシックなプレートの質感を持ちながら、優しい極上のカラーを加え、クリスタル感のあるブライトネスと繊細なディフュージョンを持ちます。汎用性も高く、アンビエンス的な使用方法にも適しています。

Gold Plate (ゴールド・プレート)

元来のプレート・リバーブ機の持つブライトネスや色付け、ディフュージョンなどの特徴を引き継ぎ、往年のプレート・リバーブ機が持っていたポテンシャルをさらに引き延ばす目的でデザインされました。「ゴールド」の名称通りのサウンドが得られます。

15 Specials - スペシャル

スペシャル・リバーブは特殊ジャンルのリバーブで、Stomp / Amb (Ambience) / Mod (Modulated) のサブ・タイプが用意されています。

操作法

Stomp (ストンプ)

コンテンツポラリなコンパクト・エフェクトのリバースを再現する、特徴的なリバース・タイプです。このリバース・タイプは繊細、または自然であることは目的としておらず、毛色の違う、独特な特徴のあるサウンドを得たい場合に使用できます。

Ambience (アンビエンス)

空間のサイズを決定づける初期反射音に重点を置いたデザインです。ドライな素材に部屋の空気感のみを足したい場合などに最適です。「空間のサイズ」と「アンビエンス」をキーワードに、様々な設定を試してみてください。

Modulated (モジュレーテッド)

拡散音場が複雑な LFO で変調されたリバース・タイプです。ヴィンテージ・スタイルのギター・サウンドや、ウァーリッツァー・ピアノなどに適しています。

リバース・スピルオーバー

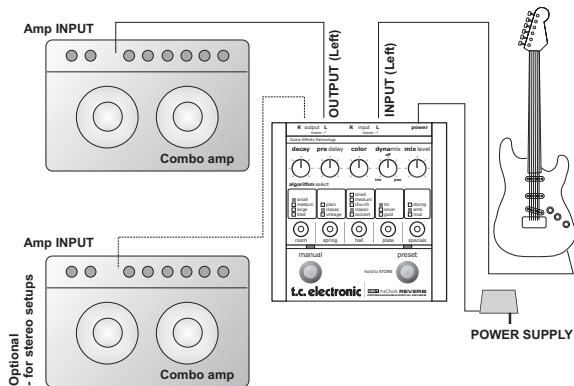
Nova Reverb は、トゥルー・ディレイ・スピルオーバー機能を装備しています。マニュアルとプリセット・モード間の切り替えや、プリセット間の切り替え、そしてバイパスにした際などにも、ディレイ成分は鳴り続けます。

リバースを ON からバイパスにする際には、リバースを「スピルオーバー」させることによって、よりスムーズな切り替わりが可能となります。スピルオーバーの状態は、マニュアル・モードとプリセット毎に、全て独立して設定できます。

- マニュアルとプリセット・モードのいずれかを選択します。
- Hall ボタンを約 1 秒長押ししてから離します。
- Hall ボタンの上にある 3 つの LED (Vintage / Concert / Gold) が状態を示します。
 - スピルオーバー・モードでは、LED がゆっくりと点滅します。
 - ミュート・モード (スピルオーバーなし) では、LED 高速に点滅します。

セットアップ例 - モノラル／ステレオ

MONO / STEREO

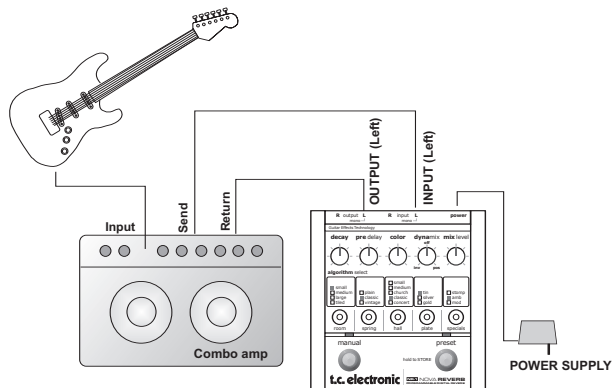


このセットアップ例は、モノラル（アンプ1台）またはステレオ（アンプ2台）での使用方法を示します。リバーブとディレイは、通常アンプの前の最後のエフェクトとして使用します。そのため、ドライブ系や他のモジュレーション・エフェクトは、Nova Reverb ペダルの前に配置します。



アンプを歪ませる場合は、次ページの「SEND/リターン」をご参照ください。

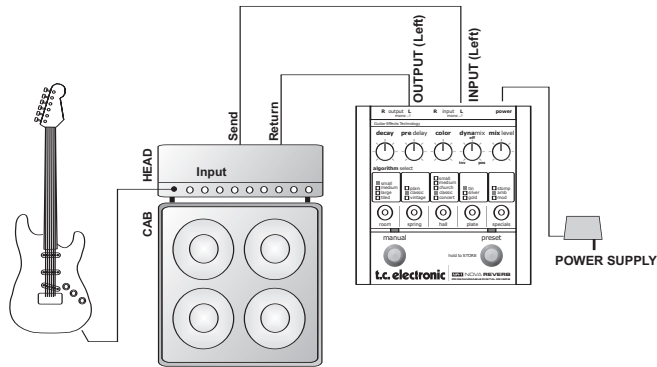
セットアップ例 - センド／リターン



このセットアップ例は、Nova Reverbをエフェクト・ループのSEND／リターン・エフェクトとして使用する際の使用方法を示します。アンプのプリアンプ部を歪ませる場合には、この例の接続を行います。

このセットアップをステレオに拡張する場合は、Novaペダルのライト・アウトプットを2台目のアンプのリターンに接続します。

セットアップ例 - アンプ・ヘッド



このセットアップ例は、モノラル（アンプ1台）またはステレオ（アンプ2台）での使用方法を示します。リバーブは、通常アンプの前の最後のエフェクトとして使用します。そのため、ドライブ系や他のモジュレーション・エフェクトは、Nova Reverb ペダルの前に配置します。



アンプを歪ませる場合は、前ページの「 SEND / RETURN 」をご参照ください。

仕様

アナログ入力

コネクター	1/4"フォーン・ジャック、モノ・センス
入力タイプ	シングル・エンド
インピーダンス	1 M オーム
最大入力レベル	16 dBu @ 12V サブライ

アナログ出力

コネクター	1/4"フォーン・ジャック、モノ・センス
最大出力レベル	16 dBu @ 12V サブライ
出力タイプ	バランス/シングル・エンド、グラウンド・センス
インピーダンス	0 Ohm
センス入力インピーダンス	225 Ohm

性能

D/A 変換	24 ビット、128x オーバーサンプリング・ビットストリーム
A/A 遅延	1.65 ms
ダイナミックレンジ	106/98 dB、20 Hz ~ 20 KHz @ Input Level 16/-2 dBu、非 A-Weighted
THD	< -90 dB (0.0032%) @ 1 kHz、I/O Level 16 dBu、負荷 > 2400 Ohm
周波数特性	20 Hz ~ 20 KHz +0.1/-0.2 dB
クロストーク	< -100 dB (20 Hz ~ 7 KHz)、 < -94 dB (7 kHz ~ 20 KHz)

EMC

準拠規格	EN 55103-1 and EN 55103-2 FCC part 15, Class B, CISPR 22, Class B
------	--

環境

動作環境温度	0° C ~ 50° C (32° F ~ 122° F)
保存環境温度	-30° C to 70° C (-22° F ~ 167° F)
湿度	最大 90 % (結露なきこと)

一般

仕上げ	アノダイズ・アルミニウム・フロント プレート及びペイント・スチール・ エンドキャップ
寸法	130 x 130 x 55 mm
重量	755 g
電源	100 ~ 240 VAC、50 / 60 Hz (自動選択) AC オール・アダプター AC アダプターは最低 0.3A 12VDC を ペダルに供給
消費電力	<5 W

製品の改良のため、使用は予告なく変更となる場合がございます。

t.c. electronic
ULTIMATE SOUND MACHINES